



多聞天立像 平安時代（12世紀）普門寺蔵

浜松初公開の持国天立像に加え、多聞天立像も

浜松市美術館では、「みほとけのキセキー遠州・三河の寺宝展ー」（2021年）、「みほとけのキセキⅡー遠州・三河のしられざる祈りー」（2023年）にて、浜名湖を中心とした遠州地域・東三河地域に跨る文化圏を一体として捉え、そこに伝来する仏像を展示してきました。この地域を代表する仏像の1つが、豊橋市・普門寺に伝来する平安時代の仏像です。普門寺では、令和8年より、これらの仏像を安置する収蔵庫の改修工事が行われます。その間、浜松市美術館にて持国天立像と多聞天立像をお預かりする運びとなり、今回の特別展示が実現しました。特に、持国天立像は過去2回の展示を通して初出展となる像です。同時に展示する多聞天立像との比較をお楽しみ頂きながら、遠州・東三河地域を代表する天王立像の造形を存分に味わっていただければ幸いです。

※イベントの最新情報（変更・中止を含む）は公式HP・SNSにてご確認ください

イベント情報

アートをもっと楽しもう！
美術館学芸員講座

遠州・東三河地域の仏像
ー如来と天ー

日程：2025年10月11日（土）

時間：午後2時～午後3時30分

場所：浜松市美術館2階講座室

定員：50名

講師：島口直弥（当館学芸員）

申込：専用フォームから必要事項
を入力の上、お申込みくだ
さい。（9月11日（木）～）



▲専用フォーム

※応賀寺蔵の展示はありません



阿弥陀如来坐像 平安時代（12世紀）応賀寺蔵

出張おさまトーク

普門寺の仏像と遠州・東三河の仏教文化圏

In hamamachi+（はままちプラス）

①抱き邪鬼（だきじゃき）体験

平安時代の邪鬼を抱っこしちゃおう！
写真撮影やSNS投稿大歓迎★



2025年

10月26日

日

①午前10時～午後3時（無料・申込不要・随時受付）

②午後1時～午後2時（無料・申込不要・先着30名）

さらに！午後4時から美術館にて展示解説も実施します！

②住職×学芸員トークセッション

普門寺住職と浜松市美術館学芸員が
遠州・東三河の仏像を熱く語ります！



登壇 林義将（普門寺住職）
島口直弥（浜松市美術館学芸員）

- ☐ はままちプラス
- ☐ 浜松市中央区砂山町 320-2
- ※遠州鉄道新浜松駅ガード下
- ☐ 公共交通機関をご利用ください。

